

行政視察報告書

令和4年4月6日

長浜市議会議長 草野豊 様

長浜市議会議員 山崎正直



私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 地方議会研修会
2. 視察期間 令和4年3月30日(水)～31日(木)
3. 視察場所及び目的
＜場所＞東京都千代田区有楽町 リファレンス新有楽町ビル
＜内容＞地方議会研修会 講師 森裕之氏
あなたのまちの財政比較分析編
財政状況資料集 Part1、Part2

4. 調査内容感想等

○財政状況資料集 Part1 財政の見方とプラクティス

- * 財政力指数、経済収支比率、健全化判断比率の比較
- * 財政が悪いとは、どのような状況か
- * 健全化判断比率をクリアしているのは当たり前
- * 人件費や職員数の比較分析を確認しよう

○財政状況資料集 Part2 財政の分析とプラクティス

- * 自治体の財政分析
- * 各指標の数値の内訳を分解してみよう
- * 財政分析表の活用方法をマスターしよう
- * 財政調整基金残高はどれくらいあれば良いのか

【考察】

今回の研修には、参加者の市町の財政状況資料集が添付されており、私も長浜市の財政資料集（令和元年度）の実際の数値を見ながら、その分析の仕方を学べたので大変有意義な研修であった。長浜市は基準財政収入額が低く、地方交付税等に依存する割合が高い財政となっているため財政力指数は低い。しかし財政構造の弾力性を示す経常収支比率は90.4%（R元）と全国平均や滋賀県平均を下まわっており、比較的弾力性があると言える。（R2決算ではR1より0.8ポイント悪化している）実質公債費比率は低く、基金残高も358億円あり、健全な財政運営と言える。しかしながら今後新型コロナウイルス感染症の拡大や災害等様々なことが予測されるため、より健全で弾力的な財政運営に努めなければならない。